

いきいき株式会社 パソコンスキルの基礎習得を目指し、 新入社員研修での自学自習の学習ツールとして導入

約20万人の年間定期購読雑誌『いきいき』や通販カタログ誌の企画・制作などを通して、50代からの女性を対象にした事業を展開しているいきいき株式会社。

同社では、2012年から新入社員研修にマイクロソフト オフィス スペシャリスト(MOS)を導入。

導入の経緯やその効果などについて、管理部 人材開発課 主任の島 沙代子さんにお話をうかがいました。

パソコン基礎力の学習ツールとして最適

—— 2012年度の新入社員研修から導入

いきいき株式会社(以下、いきいき)は、50歳からの女性を対象としたライフスタイル雑誌『いきいき』の出版事業をはじめ、選りすぐりの商品と情報を提供する通販カタログ誌『ふくふく』と『スムリラ』による通販事業、旅行や各種講座などのさまざまなイベントを企画提案する文化事業、交流サークル『いきクル』を運営するSNS事業の4つの事業を通じて、“50歳からの日々も、いきいきと生きていきたい”という女性たちの生き方・暮らし方を応援するさまざまなモノやコトを提供しています。

同社が、マイクロソフト オフィス スペシャリスト(以下、MOS)を新入社員研修に取り入れたのは2012年。研修にMOSを導入した経緯を、管理部 人材開発課 主任の島さんは次のように話します。

「最近、学生のパソコン離れが進んでいて、大学でほとんど触ってこなかったという人もいます。なかには、卒論をスマホで書いたという驚きの新入社員もいました。

そうした状態がスタートラインなので、まず最初にパソコンの基礎を身につけさせる必要があります。また、当社の新入社員は全員総合職採用なので、研修後、どこの部署に配属されても使える汎用性の高いスキルの習得が必要です。

Excel[®]やPowerPoint[®]など、毎日の仕事に不可欠なOffice製品のアプリケーションの知識や使い方を学べるMOSは、そのための学習ツールとして最適だと考え、今年も継続して新入社員の研修に導入しました」

自立性を育成するための学習方法の見直し

—— 集合研修から自主学習に切り替え

仕事に必要なパソコンスキルを身につけるための学習ツールとして、MOSは4年にわたって継続して導入されていますが、本年度からその学習方法について見直されました。

2012年から2014年までの新入社員研修では、講師を招いてMOSの短期集合研修を実施し、本配属が決まる前の9月末までにMOSを受験する運用でした。しかし、2015年からは、入社後にMOSのガイダンスを受けたあとは、新入社員の各自がスケジュールを組んで対策教材で学習し、9月末までにMOSの3科目(Word 2013 スペシャリスト、Excel 2013 スペシャリスト、PowerPoint 2013)を受験するという運用に変更されました。

各自が独学でMOS取得を目指すスタイルに変えた理由について、島さんは“自学自習”の姿勢も身につけてもらうためだと説明します。

「今年はこれまでのように集合研修を行うのではなく、自分たちで考え、自分たちで行動できる力を養うために、本配属の10月までにMOSを受けて合格するように説明し、あとは本人たちの裁量に任せるスタイルを採用しました。当社は、その他の実習系の研修もかなりハードなので、MOSに関しても、自分でしっかりスケジュールを組んで計画的に勉強を進めておかないと、本配属までに合格するのは難しい、という話は事前にしておきました。合格するまで何度でも受けるよう指示したためか、不合格になった2回目以降の受験料は自己負担である旨を説明したためか、新入社員の一人ひとりが各自で受験日を設定して早々に受験申込を済ませましたし、結果的に、8月半ばの時点には全員が無事に1回で合格しました」

実際の業務に直結するスキルを

—— どの部署でも使用頻度の高いExcel

パソコンの基礎力をつけるために採択されたMOSですが、3科目の資格取得が義務づけられたのには理由があります。

定期購読雑誌や通販カタログ誌を企画・制作し、発行するいきいきは、出版社とみられることが多いそうですが、実際はかなりダイレクトマーケティング色の濃い会社であるとのこと。従って、基本的にどの部署においても購買実績や消費傾向などの各種データの集計・分析のた

いきいき株式会社 <http://www.e-ikiki.co.jp/>

所在地 〔本社〕東京都新宿区神楽坂4-1-1 オザワビル3・4階

神保町オフィス／東京都千代田区神田神保町2-2 共同ビル神保町2・5・6・7階

従業員数 262人 ※うち正社員146人(2015年4月現在)

2012年7月設立。定期購読雑誌「いきいき」をはじめ、通販カタログ誌「ふくふく」「スムリラ」の編集・発行、化粧品などオリジナル商品の企画・開発、さらに50歳以上の女性限定SNS「いきクル」の企画・運営、旅行イベント企画など、50代からの女性の生き方、暮らし方を提案・応援する事業を展開している。

取材ご協力



管理部 人材開発課
主任
島 沙代子 さん

めにExcelが必須スキルだと言います。「新入社員がどの部署に配属されるかは、適性と本人の希望で決まりますが、どの部署に配属されたとしても、Excelのスキルは必要とされます。商品のモニタリングやユーザーの購買データなど、分析・検証する業務が多く、Excelが使えないと仕事になりません。また、Wordは原稿作成など一部の部署での利用になりますが、商品や企画のプレゼンなどでPowerPointもExcelと同じくらい使用する頻度が高いです。ちなみに、新人研修の期間中の後半には、特定の課題に対して企画を考え社長にプレゼンするという機会がありましたが、PowerPointはそこでも用います。すでにMOSを取得済みだったこともあってか、発表時にはMOSの学習で培ったスキルが活かされたスライド作りが見受けられました」

どの部署においても必ず必要になるExcelやPowerPointのスキルを本格的に業務に携わる前に習得しておく。このことは、仕事を円滑に進めていくための第一歩として、本人と会社の双方にとって必要不可欠な要素になっています。

MOSを導入したメリット

—— 資格取得者の反響

実際にMOSの取得に取り組んだ新入社員の反響についてはどうだったのでしょうか。

「新入社員の大半が大学では卒論やレポート作成のために、時々ExcelやWordを触ったことがある程度だったので、研修期間中は、『業務で役立つような機能を実際に使ってMOSの勉強を進めた』『同期と情報共有しながら学習した』という声がありました」

また、新入社員研修を通じてMOSを取得した社員からは、「習得したスキルを仕事に活かしています」という声も寄せられているとのこと。島さんがヒアリングした結果、MOS取得後の感想やスキルの活かし方について、次のような声が上がってきているそうです。

『PowerPointでプレゼン資料を作成する時、図やワードアートが使えるようになったため、文字のベタ打ちから脱却できた』

『配属された経営企画部では、毎日ExcelとPowerPointを使うので、本配属までに全体的なスキルが上がったこと、Officeアプリケーションに触って慣れておいた点良かった』

『編集業務にはWordが必須なので、事前に学んでおいて良かった。さらに、進行管理表や雑務

ではExcelやPowerPointを使う機会も多いため、MOSの3科目で習得したことは日常的に役立っている』

10月以降に配属された各部署からも、「新人がパソコンを操作できなくて困る」という声を聞くケースはないとのことであり、MOS導入による研修の成果は、パソコンの基礎力から実務力へと徐々に変化してきているそうです。

自学自習の精神を軸に

—— 自分で考えて自分で動ける人材を育てる

いきいきの新入社員研修は、「自分で考え、自分で動けるように」を軸に構築されています。パソコンの基礎学習としてMOSを導入した一番の理由も、それぞれがきちんと学習予定を組んで9月末までに合格を目指す「自学自習」スタイルがフィットしている点も大きかったそうです。また、MOSの導入効果としては、新人たちにとって良い点と、会社側にとって良い点がそれぞれあると言います。

「パソコンの習熟度というのは、独学に任せていると判別しにくく見えにくいものですが、“MOSに合格した”という目に見える形になることで、彼らがきちんと学習したという“成果”が把握しやすい。その点が、私たち研修を行う側にとっては良いと思います。

また、新入社員にとっても、入社半年間は何かと試練も多くて辛い時期。いろいろくじけそうになったり、これからやっていけるのか不安になったりするとき、MOSのように勉強した結果が「合格」という形に直結するのは、やりがいや自信につながりますので、精神的にもとても良い効果があると感じました」

*

パソコンの基礎を習得しながら、社会人として踏み出す一歩の自信も身につけてもらう。MOSの導入は、そんな効果も新入社員にもたらしているようです。



オフィス内の様子(神保町)